

株式会社 防除研究所は温室効果ガス排出量削減の目標に関し、パリ協定で定められた削減目標を推奨する SBT(Science Based Targets)イニシアティブ(※1)より科学的な根拠がある水準として認められ、SBT 認定(1.5° 水準)を取得しましたのでお知らせ致します。



気候変動問題は、国際問題となっており、自然環境と社会構造に劇的な変化をもたらしております。また、脱炭素社会は今までのビジネスモデルに大きな変化をもたらす重要な課題となっております。

当社としても、脱炭素社会に向けたビジネスモデルの構築を目指すとともに、国際的な気候変動問題に取り組むべく SBT 認定をこの度取得致しました。

当社の 2021 年 Scope1 直接排出(※2)、Scope2 間接排出(※3)の GHG 排出量合計が 139.62 t(※4)となっており、2030 年までに GHG 排出量を 42.0%削減し、2050 年までにカーボンニュートラルを目指します。

目標を達成するため、Scope1(直接排出)への取組は、営業車を段階的に電気自動車へ切り替えすることを推進致します。Scope2(間接排出)への取組は、照明の LED 化等省エネ設備の導入を推進致します。

【削減目標】



今後、脱炭素社会に向けた取り組みをすることで、国際的な課題の解決に貢献するとともに、事業を通じお客様の「健康で快適な暮らし」を守り続けたいと思います。

※1：CDP、WRI、WWF、UNGC によって 2015 に設立された国際的なイニシアティブ。パリ協定の目標(気候変動による世界の平均気温の上昇を産業革命時期前より 2.0° を十分に下回る水準に加え、また 1.5°に抑える)に向けて民間企業が設定する温室効果ガス削減量の目標が科学的根拠に基づいているかの検証・認定を推進している。

※2：自社での燃料使用や工業プロセスによる直接排出

※3：自社が購入した電気、熱の使用に伴う間接排出

※4：2021 年実績の調査は、株式会社ウェストボックスの監修を受けた株式会社十六銀行によるもので、GHG プロトコルの基準を満たしたものとなっております。